



2019年(令和元年)度舎友会拡大役員会開催

令和元年5月25日(土)午後4時30分より、新宿サンパーク本館7階スターホールにて2019年度舎友会拡大役員会が開催された。出席者は牧内良平会長をはじめとして、副会長の林史典、池神利勝、深澤克巳、葛岡龍夫、監事の嶋岡洋平、片桐勝臣、幹事の上松三治彦、伊藤寿彦、浅沼弘愛、原誠、池野兼浩、次期幹事候補の福田璋夫、伊原江太郎、鈴木昭夫、田中淳一、事務局の福與卓臣の総勢17名が集まった。

主な議題は、9月7日飯田で開催予定の第5回総会・講演会・懇親会に関する準備に関する点で、下記の内容が協議された。

1. 総会における議案：①平成30年度事業報告、会計報告、監査報告 ②2019年度事業計画、事業予算 ③役員改選、新役員候補者 ④各支部報告 ⑤寮及び寮生活の近況報告 ⑥法人運営報告
2. 記念講演会(講演時間は各30分)：講師1. 牧内良平会長(神奈川大学理事長)、講師2. 林史典副会長(筑波大学名誉教授)
3. 懇親会次第等：出席者が確定する7月以降に詳細を決定し、当日の受付、会計、司会進行等は飯田支部が担当する。
4. 会場であるシルクホテルとの詳細打合せは、現地責任者である池野兼浩氏と事務局・福與で責任を持って行う。
5. 役員改選については、事務局より推薦したい新役員候補者の案が提出され、総会にて承認を得ることとなった。

議案終了後、嶋岡監事、片桐監事により平成30年度の会計監査が行われ、事業報告、決算収支報告書、郵便為替口座、現金出納帳、並びに附属明細書、領収書等を監査した結果、適正に処理・記載されていることを確認し、監査報告書に署名押印した。



舎友会拡大役員会 会議風景

会議終了後、懇親会が行われた。牧内会長の挨拶、林副会長の乾杯の後、令和元年春の叙勲で瑞宝中授賞(勲三等)を受賞した伊原江太郎さんと、昨年秋に文化庁50周年記念表彰を受賞された林史典さんのお祝いを兼ねた懇親会となり大いに盛り上がった。

副理事長・伊原江太郎(舎友No.147)さん「瑞宝中綬章」を受章!

5月21日付で発表された2019年春の叙勲

各界で功績のあった人をたたえる2019年春の叙勲が発表され、舎友で副理事長の伊原江太郎さんが主に公務員が対象の「瑞宝中綬章」(勲三等)を受賞した。現役(元参院常任委員会専門員)時の積年の功績が高く評価されての受賞となった。伊原さんは、公益財団法人信陽舎においても長年にわたり理事学監として寮生指導、施設管理等の面で献身的にご奉仕いただき、今年7月より副理事長としてご尽力いただいている。

《6月の寮会で長谷川寮母さんと全寮生から御祝品を贈呈された》



受賞の喜びを語る伊原さん



長谷川寮母さんから贈呈・大吟醸「伊原江太郎」



寮生代表・山崎寮長よりお祝品贈呈



「信陽舎の運営理念について」—理事長就任に当たり思うこと—

公益財団法人信陽舎 理事長 福與卓臣 (舎友No.117)

長野県人学生寮・信陽舎の運営理念と言えば、寮の食堂に掲げられている加納金三郎第2代理事長の筆になる広瀬淡窓の詩の一節「君は川流を汲め、我は薪を拾わん」と、宇佐美珍彦第3代理事長が寄宿舍生活を詠んだ一節「友の憂いに吾は泣き、吾が喜びに友は舞う」との言葉に凝縮されているのではないかと考えます。

私の70余年の人生を振り返ってみたときにつづく思うことは、信陽舎で過ごした3年間の寮生活の貴重な経験が、その後社会人になってからの人生に大きな財産となったということです。

“人間として世の中に生きる”とはどういうことかを考えるとき、いつも頭に浮かんでくるのは司馬遼太郎の言葉です。『“人”という字をよく見ると、ななめの画がたがいに支え合って構成されていていつも感動させられます。人間は決して孤立して生きられるようにはつくられていない』。つまり、人間とは、他のひとひとと関わり合い支え合ってしか生きられない生物だということです。別の言い方をすれば、人間とは“関係としての存在”、人や社会や自然などと関わり合い支え合ってしか存在し得ない生き物だということです。

よく“社会は人なり”とか“組織は人なり”と言われますが、“社会とは支え合う仕組み”なのであります。したがって、社会的存在としての人間を育てるという意味で大事なものは、“関係の在り方”を学ばせることだと思います。それには、共同生活、集団生活がとても有効です。同じ釜の飯を食べ、寝起きを共にし、協同で作業をする。そのことで自然と人間関係の在り方が学べ、人格が培われるわけです。

昔、江戸時代後期から明治後半頃まで西日本各地に“若者宿”とか“若衆宿”と呼ばれるものが存在したんですが、特に有名なのが幕末の薩摩藩における「郷中宿」という薩摩独自の教育機関ですね。若かりし西郷吉之助(隆盛)を郷中頭として、大久保利通、大山巖、西郷従道、東郷平八郎などがそこで育った。また、幕末に長州藩の萩で吉田松陰が営んだ「松下村塾」からは、高杉晋作、久坂玄瑞、伊藤博文、井上馨、品川弥次郎など、多くの明治維新の立役者を輩出した。さらに、同時期の大坂には蘭医の緒方洪庵が運営する「適塾」があり、そこでは30名の若い塾生たちが30畳の部屋で共同生活をしながら蘭学を学んでいた。その中から大村益次郎、橋本左内、福沢諭吉、長与専斎、大鳥圭介、箕作秋坪といった維新後の近代日本の基礎を築くことになる多くの人材が育ったんですね。

これらに共通しているのは、若者達が集団生活、協同生活を通して学ぶという、まさに理想的な社会教育システムだったということです。協同生活では、自分のことだけ、自分の利害や都合ばかり考えていたらうまくいきません。お互いに支え合って生活するわけですから、皆のために他者を意識して、すなわち皆の利害や都合を考慮して行動しなければならないため、自然と「どう行動したら皆から信頼され感謝されるだろうか？」という人間関係の在り方(=社会性)が学べ、身についていくわけです。

そのような役割は、昔なら若者宿とか塾、あるいは寄宿舍などが担っていたわけですが、今日では信陽舎のような学生寮こそが、その役割、つまり“社会性=人間関係の在り方”を学ぶ場としての役割を担うべきだと考えます。

信陽舎の運営に当たっては、寮生たちが明るい未来のための糧(財産)となるような充実した寮生活を送ってもらえるよう一人一人に寄り添い、その成長していく姿を見守りながら運営していきたいと思っています。寮生の成長する姿を眺められるのが私の無上の喜びです。

信陽舎に学び、社会に羽ばたいて行く寮生たちに、座右の銘としてシャトーブリアンの次の言葉を贈りたい。

「人間が自分ひとりで生きて行けるなどとは何と思い上がった若者よ、力を授かった者は、それを隣人のために使わなくてはならぬ！」



福與卓臣理事長

【 信州の明珠財宝 ③ 】 国宝・旧開智学校 (松本市開智2丁目4番12号)



2019年、教育の始まりを象徴しているとして、学校建築としては初の国宝に指定された。

日本最古の洋風建築小学校。明治9年完成、和洋折衷の美しい校舎の高価な建築費の70%は市民の寄付によって賄われたと言われ、まさに教育県信州の面目躍如の象徴的存在。



舎友会報告



年会費徴収報告

平成30年度年会費徴収は第4回総会開催案内状に郵便振替用紙を同封し、361名の舎友に納入依頼した結果、141名からの納入があった。

平成31年度に入ってから新たに2名の納入があり最終的には143名となった。

納入依頼数	361名
納入数	143名
達成率	40%

会報「武蔵野」第3号発行報告

発行日：平成30年9月1日	
総印刷部数	450部
印刷費用	69,984円
配布部数	420部

会報「武蔵野」第4号発行報告

発行日：平成31年4月1日	
総印刷部数	450部
印刷費用	69,984円
配布部数	425部

会報「武蔵野」第5号・第6号発行予定

第5号発行予定：令和元年9月1日 発行予定部数：450部	
第6号発行予定：令和2年4月1日 発行予定部数：450部	

平成30(2018)年度 信陽舎舎友会 決算報告

収支	項目	摘要	金額
収入の部	繰越金	前期(平成29年度)より繰越金	179,037
	年会費	郵便振替 134件	201,000
	”	現金 7件	10,500
	第4回総会参加費	当日現金 35名x6,000円	210,000
	寄付	舎友会有志親睦ゴルフ会	372
合計			600,909

支出の部	会報「武蔵野」制作費	第2号、3号印刷代 各400部	139,968
	総会開催費用	9月8日、新宿サンパーク本館	161,237
	事務費	コピー用紙、プリントインク代等	35,883
	通信費	案内状・返信ハガキ、会報郵送料	83,260
	手数料	郵便振替・印字、振込等手数料	14,910
	小計		435,258
	繰越金	次期へ繰り越し	165,651
合計			600,909

繰越金内訳	郵便振替口座	139,536
	現金	26,115

平成30年度信陽舎舎友会 会計監査報告書

信陽舎舎友会 殿

平成30年度信陽舎舎友会における事業報告、決算収支報告書、郵便振替口座、現金出納帳並びに付属明細書、領収書等を監査した結果、適正に処理・記載されていることを認めます。

令和元年(2019年)5月25日

信陽舎舎友会 監事

嶋岡 洋平 (印)

信陽舎舎友会 監事

片桐 勝臣 (印)



舎友便り



《 第5回総会への出欠返信ハガキの通信欄等より 》

- 高柳 俊男 (S2)： 9月6日まで学生の研修で飯田にいますので、帰京はもう一人の先生に任せて、私一人もう一日現地に残ることができると思いますので飯田での第5回総会に出席させていただきます。
会報第4号でご紹介の平沢忠明様の『風越山物語』を学部(法政大学国際文化学部)資料室の「飯田・下伊那文庫」に入れましたので、平沢様に宜しくお伝え下さい。
- 平澤 正通 (11)： 昨年の会で今年は飯田開催とのことで参加したく思っていたのですが、たまたま今年の自治会で役員になり、当日その仕事で出席できません。残念ですが、ご盛会をお祈りします。
- 福島 芳彦 (13)： お世話になります。腰痛のため年々歩行困難が増強。残念ながら欠席いたしますが、盛会をお祈りします。
- 宮川 章義 (14)： 総会は欠席させていただきます。ご盛会を祈ります。皆様に宜しくお伝え下さい。
- 武藤 高義 (16)： 幹事役をご苦勞様です。総会当日を楽しみにしております。
- 原田 守啓 (18)： 日頃の諸兄の信陽舎へのご尽力には敬服しております。
- 伊藤 龍夫 (26)： 現在、腎臓病がステージ4まで進んでしまい、食事制限(タンパク質・カリウム)や運動制限が厳しい状態です。そのため、学生時代や会社時代の仲間の会合への出席も2年前から止めました。ご案内は有難かったのですが状態の回復は見込めず欠席します。今後のご案内も不要です。
- 椎名 洽一 (34)： 体調を崩しており、誠に残念ですが総会は欠席させていただきます。皆様に宜しくお伝え下さい。



《 第5回総会への出欠返信ハガキの通信欄等より 》

- 高間 成之(38)：飯田で皆様にお会いできますことを楽しみにしております。
- 中川 正明(44)：ご案内いただきありがとうございます。父・中川正明は長女のいる横浜で介護施設に入所中ですが元気になっています。(長野在住の次女様よりの便り)
- 中島 敏晴(45)：総会のご案内を有難うございます。今回は体調不良につき欠席させていただきます。
- 安藤 光弘(52)：いつもご連絡を有難うございます。皆様のご活躍を心から願っております。
- 上松 進(53)：3月末、体の不調を覚え、肺ガンと診断され、現在は、自宅にて治療せずにいつかやってくるその日を穏やかに待っています。自分のわがままでお願いした信州にての開催に自分が行かれないのは誠に残念です。信陽舎が永遠に発展するように願っています。
- 北原東亜夫(55)：案内状を頂き有難うございました。年と共に近場の人も出席者数も減り、だんだんと敷居が高くなっていきます。福与さんの益々の若さを期待しています。
- 浜 国昭(65)：喜寿で仕事を卒業。自適ではあるが悠々ではないのが現状です。そう長くはない残りの人生をどう過ごすか思案中。人様に迷惑をかけぬよう体力、脳力、財力保持に努めたい。総会・懇親会の案内をいただきましたが、諸々ありまして欠席とさせていただきます。いつものご配慮に感謝しつつ、会の盛会を祈っております。
- 松澤 宏景(70)：あまり健康という状態になく、遠方への一人出掛けは困難となり申し訳ありませんが出席は遠慮させていただきます。舎友の方々によろしくお伝え下さい。現在、心臓と片目が不自由な状況です。
- 吉川 史(77)：家内の母親の介護のため閉院し、東京の娘のところに来ましたが、今度は家内が人工股関節手術で入院。介護と看護の二重苦です。
- 嶋岡 洋平(78)：信陽舎の役員として長い間お世話になりました。これからの新役員も若い人たちが多く参加するようになり嬉しいかぎりです。年齢をとった感を強くする昨今ですが、介護などを含め、まだまだ頑張らなければと思っている次第です。
- 神波 潔(85)：9月7日は、例年の当方の大会(詩吟の北部大会)とバッティングして参加できず、大変申し訳なく思っています。北信支部では昨日3役(田尻幹事長、仁科事務局長)で打合せをし、8月末に北信支部会を開いてもう少し支部の動員力を高めようということになりました。その報告は田尻幹事長が総会(9月7日)で行いますので宜しくお願いします。
- 下平 肇(87)：総会の成功に向けて頑張りましょう！
- 中田 茂(102)：6月末をもってようやく飯田病院を退職できました。今後とも宜しくお付き合い下さい。
- 中山 卓(103)：第5回総会は楽しみにしておりますので、当日は宜しくお願い致します。
- 片桐 勝臣(110)：総会・懇親会が大盛会となりますように……！
- 五嶋 昭(112)：第5回総会のご盛会をお祈り致します。
- 小平 国俊(113)：いつもご通知を有難うございます。あいにく所用ができたため欠席いたします。皆様にお会い出来ないのが残念です。
- 深澤 克巳(115)：3年前に完全リタイアしました。私には広すぎる畑仕事を中心に、テニス、ゴルフ、海釣り、謡曲のけいこ、アテネフランセでのフランス語と結構忙しい日々を送っています。
- 後藤 明(123)：残念ながら欠席させていただきますが、ご盛会を祈念致します。皆さんに宜しくお伝え下さい。
- 横地 徹(124)：長女の家族4人と私共夫婦と一緒に新居に住んでおります。盛会をお祈りしています。
- 竹村 治恭(140)：飯田での総会開催、皆様にお会いできるのを楽しみにしています。
- 浜 太美治(143)：こんにちは、すみませんが総会は欠席でお願いします。立派な会報「武蔵野」拝読しました。松本城スケッチは絵ハガキになりますね。亡くなられた久保田さん、山口さん、藤本さん等想い出します。ご冥福を祈ります。
- 原 鍊造(144)：会報第4号で懐かしい顔に何人も出会いました。みんなおじいさんになりました(私も)。地元におりますので第5回総会では私でできることはお手伝いさせていただきます。
- 平沢 忠明(145)：林史典様は、江戸の金座御金改役で天保の改革の犠牲者として史上に名前を知られる後藤三右衛門(飯田の豪商「若松屋」林家三男)の遠孫だと思います。林家からは郷土誌「伊那」の生みの親の林栄(飯中6回卒)も出ています。(編集部注：林栄さんは林史典さんの祖父となります。)
- 尾畑 明(150)：リニア開通、スマートインターの開設とそれに伴う住民の移転等々で当地も少しづつ変化してきます。令和の時代、飯田は大きな転換期です。当方もリニアに乗って上京を目指して頑張ります。



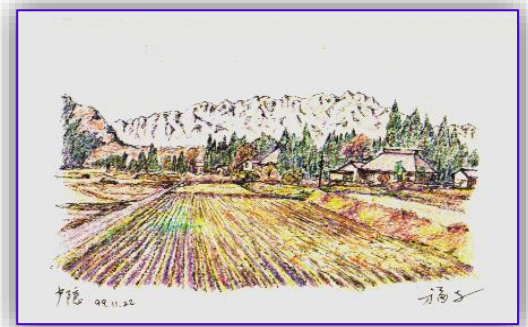
戸隠・鏡池



日夏歌之介記念館(飯田市)

《 第5回総会への出欠返信ハガキの通信欄より 》

- 塩澤 隆利(152)： 9月7日の信陽舎総会を楽しみにしています。
- 鈴木 昭夫(154)： まだ手のしびれが残っていて、読みづらいことご勘弁ください。 昨年は初めての出席を楽しみにしていましたが、直前に風邪・発熱で出席できず残念でした。 近頃、楽しいイベントなどの直前にインフルエンザに罹ったりしてしまい、どこかの神様に意地悪されているようで少々心配ですが、今年は万全を期して飯田での舎友会に出席したいと思っています。 役員の皆様、ご準備を有難うございます。 皆様にお会いできるのを楽しみにしております。
- 金田 憲治(164)： 遅くの返事で申し訳ありません。 久しぶりに会える方があるかもしれません。 ワクワク感です。 企画して頂ける方々本当にご苦労様です。
- 櫻井 康夫(166)： 総会は欠席しますが、ご盛会をお祈りいたします。
- 浅沼 弘愛(172)： 総会の日程と田舎のイベント(先祖祭)とかち合ってしまう失礼ですが、皆さんに宜しくお伝え下さい。
- 久保田 信行(174)： ご案内を有難うございます。 都合により欠席しますが、ご盛会をお祈り申し上げます。
- 林 高明(182)： 老齢の両親を見るため毎日実家に通っています。 昨年は電動ノコギリ、今年は軽トラを購入しました。 そして休耕田の手入れ、伐採、剪定、又、自家用の野菜作りに挑戦しています。 今年から地区の退公連のお役も務めなければならない、なかなか気が抜けません。
- 中村 克己(190)： 会報第4号、懐かしく読ませていただきました。 写真を見ても、皆さんの容貌が変わってしまい、名前と顔の一致が難しい状況です、残念！！
- 鳴海 雅治(192)： あいにくカナダから横浜まで客船の旅の最中です。 皆様お元気で！！
- 前澤 孝一(193)： 残念ですが、所用により総会は欠席致します。 今年古希を迎えます。 年相応に弱ってきているところもありますが、孫の相手が出来よう、ジム通いで体力の維持を図っているところです。 皆様のご健康とご多幸をお祈り申し上げます。
- 水上 勝秀(195)： 現在、阿智中学校の部活(バレーボール)指導員をしています。 総会当日に地区の大会等が予定されています。 もし都合がいたら、参加させていただきます。
- 森山 幹夫(196)： 信陽舎舎友会の飯田での開催を感謝いたします。 今後とも宜しくお願い致します。
- 岩原 晃(214)： ご案内を賜り深く感謝いたします。 総会と懇親会を楽しみにしております。
- 寺島裕一郎(217)： 定年退職後は、神主として専ら神事に勤んでおります。
- 中村 泰昭(234)： 今年もまた海外渡航予定と重なってしまったため、調整してみましたがかまくいかないため欠席とさせていただきます。
- 福澤 秀志(266)： 総会の前日まで出張の予定が入っており、今回は欠席させていただきます。 ご盛会を祈っております。
- 宮澤 清(268)： 都合で総会には参加できませんが、皆様に宜しくお伝え下さい。
- 岩原 伸(290)： 会報を楽しく拝見させていただきました。 季節ごとに行事があったことを、季節が巡るたびに想い出します。
- 高野 雅彦(302)： 昨年は都合がつかず参加できませんでしたが、今年は参加させていただきます。 お会いできるのを楽しみにしています。
- 仁科 圭右(306)： 9月7日の総会は残念ですが欠席して下さい。 弊社は土曜日は営業日で会議が入ってしまいました。 返信ハガキは別途投函いたしますのでご容赦下さい。 皆様のご健勝と、ご盛会を祈念いたします。
- 木下 雅仁(340)： 飯田合同庁舎4階にある南信州農業改良普及センターに勤務しています。 皆様、お変わりございませんか？
- 安藤 道彦(366)： いつもいつも感謝しております。
- 丸山 哲也(372)： 現在、海外勤務中ですので宜しくお願い致します。
- 田中 淳一(470)： 返信が遅くなり失礼しました。 今年は久しぶりに飯田に帰ろうと思います。
- 田中 洸哉(536)： 八丈島(東京都八丈町)に転居しました。
- 岩原 優(580)： もう社会人四年目になりました。 しかし未だに寮生と繋がっており大変嬉しく思います。
- 高野 凌輔(583)： 総会当日お会いできるのを楽しみにしております。
- 中島悠三郎(592)： お世話になります。 毎度欠席ですみませんが、今後とも宜しく願います。
- 後田健太郎(593)： 千葉大法科大学院を卒業しました。 司法試験短答試験合格！ 9月10日に論文試験結果発表です！ 寮を出てからも寮祭に呼んでいただき有難うございました。 私にとって、寮祭で寮生やOBの方々とお話できたことが、勉強漬けの苦しい日々の支えになりました。
- 大石 晃也(608)： ご無沙汰しております。 小諸で、今話題の「キャッシュレス」について日々学んでいます。 ようやく緊張が解けてきて、楽しく過ごしています。 皆様もお体に気を付けてお過ごし下さい。
- 松田 理央(609)： 在寮中は大変お世話になりました。



鬼無里より戸隠連山を望む

2019年度新入寮生歓迎会

希望に燃えた新しい仲間たちを宜しく！



土本涼也君

風間大輝君

牛山功麻君

櫻井駿一君

葛岡拓真君

平成最後の31年4月21日(日)午後6時30分、先輩寮生、舎友、理事、ケアハウスの参加者、シルバー清掃員等全員が指定の席に着いた後、新入寮生の5名が盛大な拍手の中を会場正面の上座の席に着いた。参加者は総勢43名。

坂口副寮長の司会進行の下、まず山崎寮長より心のこもった歓迎の挨拶と開会宣言があった。続いて、古島理事長から歓迎と祝福の挨拶、ケアハウスの村田施設長による祝辞があり、福興の挨拶と音頭で乾杯を行い、賑やかで楽しい歓迎の宴がスタートした。

宴の途中、新入寮生が一人一人自己紹介を行った。それまでは緊張気味だった新入寮生たちも自己紹介が終わり、先輩寮生たちから飲み物や料理をすすめられるようになってやっと気持ちも和らいできたようだ。

宴の半ばに、新入寮生を代表して、土本涼也君がギターで歌を披露。その演奏と歌声に参加者一同感動し聞き惚れてしまいアンコールの合唱に応えてもう一曲披露してくれた。楽しいひと時はあっという間に時間が過ぎ、最後に全員で集合写真を撮った後、牧野理事の音頭で寮歌と信濃の国を大合唱して、盛り上がった歓迎の宴は午後8時30分に終宴となった。(運営記録より)



出席者全員で歓迎の記念撮影

寮生自治会が「寮生活のルール」を自主制定

～ 自律精神の目覚めに感動！～

新年度の寮生自治会の三役(寮長、副寮長)と新旧各係長が集まって、より良い寮風にしようと話し合い、「信陽舎 寮生活のルール」を作成し、5月の寮会(寮生自治会)にて全寮生に配布し、実施の徹底を確認し合った。

内容は、1) 食堂の使い方 2) 風呂場の使い方 3) 各階洗面台・トイレ・ゴミ捨て場の使い方 4) 図書室(読書室)の使い方 5) 寮費(寮生自治会管理のお金)の使い方 6. その他諸々となっているが、実際に現場で生活する身として自らの経験を基に作られたものなので、われわれ理事が外から見て頭の中で作るルールに比べ、非常に具体的で分かりやすく、リアルな表現のルールとなっている。

信陽舎とは何か? 何処にあるのか? それは場所や建物にあるのではなく、寮生一人一人にある。信陽舎の主役は寮生であるから、信陽舎を良くするも悪くするも寮生次第だ、ということに目覚め、自分たちの力でより良い寮にしようという機運が盛り上がってきたことに成長の証を実感した。(運営記録より)

年齢差80歳！ 若者とお年寄りが共生する微笑ましい交流

桜堤ケアハウス主催の「夏の夕食会」に参加して

令和元年7月25日（木）、ケアハウス主催の行事「夏の夕食会」に7名の寮生と伊原副理事長、福與の計9名が出席。午後5時半ケアハウス職員で生活指導員の外山恭子さんの司会で夕食会が始まった。出席した寮生たちは、ケアハウスの入居老人の皆さんに飲物を注いで回ったり、食べ物を配ったりと積極的に給仕のお手伝いをしサービス精神を發揮していた。食事中、3年生の塚田君は98歳のお爺さんと、別のテーブルでは1年生の風間君が共に99歳になるご夫婦とにこやかに談笑、時に真剣に話に耳を傾けている姿はとても微笑ましい風景であった。塚田君とお爺さんの年齢差は77歳、風間君とご夫婦の差はなんと81歳である。少子化に伴う人口減少、超高齢者社会となるであろう近い将来、年齢を超えて互いに助け合い支え合う共生社会を目指すことを得ないことを思うにつけ、信陽舎の寮生たちは他では得られない貴重な経験をえられるわけで、これからのモデルケースとしての信陽舎の存在意義を改めて感じた一日だった。（運営記録より）



飲物を配る寮生たち



年齢差77歳の談笑



お年寄りとの楽しい食事会

《 運営報告 》

公益財団法人 信陽舎 新評議員・新役員（理事・監事）就任

令和1年6月22日 定時評議員会・臨時理事会・臨時評議員会開催



アルカディア市ヶ谷7階「白根」の間に於ける会議の様相

2019年（令和1年）6月22日（土）午後4時～午後6時、アルカディア市ヶ谷7階会議室「白根」において、2019年度定時評議員会、臨時理事会、臨時評議員会が開催された。出席者は総勢28名【旧評議員5名：宮川章義、原田守啓、片桐勝臣、上松三治彦、浅沼弘愛、旧理事1名：土屋雅敬、新評議員7名：古島史雄、久保田光昭、福田璋夫、鈴木昭夫、牧野憲治、五島久揮、小林隆、新理事10名：林史典、池神利勝、深澤克巳、福與卓臣、伊原江太郎、田尻実、原誠、池野兼浩、田中淳一、岩原優、新監事2名：葛岡龍夫、坪木崇、オブザーバー3名：長谷川廣子（寮母）、折山達野（副寮長）、坂口大成（副寮長）】新評議員・役員で欠席者は、牧内良平評議員と竹村治恭理事の2名であった。

定時評議員会（午後4時～5時）において、新役員（理事・監事）13名が選出され、続いて行われた臨時理事会（午後5時～5時45分）において、下記の通り新しい代表理事（理事長）並びに執行理事が決定し、引き続き行われた臨時評議員会において決定事項（新代表理事、執行理事）の報告がなされた。

全ての会議が終了後、懇親夕食会（午後6時～7時30分）が行われ、長年寮の運営に御尽力いただき当日をもって退任された宮川さん、原田さん、土屋さんの挨拶、普段から大変お世話になっている長谷川寮母さんと折山・坂口両副寮長の紹介と挨拶などがあり、新しい運営体制の門出を祝うに相応しい懇親会となった。

《 運営報告 》

【 法人運営組織：新役員及び職務分掌 】

評議員		役員(理事・監事)				入寮審査面接選考委員	
氏名	舎友No.	資格	氏名	舎友No.	職務分掌	理事 9名	舎友 9名
古島 史雄	47	理事長	福與 卓臣	117	運営全般	池神 利勝(東京)	下平 肇(飯田)
久保田光昭	58	副理事長	伊原江太郎	147	寮生指導・施設管理	深澤 克巳()	常盤 昌昭()
牧内 良平	91	常務理事	池神 利勝	109	会議企画・寮生募集	福與 卓臣()	五島 久揮()
上松三治彦	108	"	深澤 克巳	115	会計・財務	竹村 治恭(松本)	中山 卓(松本)
片桐 勝臣	110	理事	林 史典	67	理事長補佐	伊原江太郎(東京)	深澤 勝吉()
福田 璋夫	116	"	竹村 治恭	140	寮生募集補佐	田尻 実(長野)	田村 裕昭()
鈴木 昭夫	154	"	田尻 実	207	寮生募集補佐	池野 兼浩(飯田)	神波 潔(長野)
牧野 憲治	157	"	原 誠	220	会議企画補佐	原 誠(東京)	水上 壱雄()
浅沼 弘愛	172	"	池野 兼浩	298	寮生募集補佐	田中 淳一()	仁科 圭右()
五島 久揮	176	"	田中 淳一	470	電子申請補佐	個人情報取扱責任者 《個人情報保護規定》 福與 卓臣	
小林 隆	354	"	岩原 優	580	ホームページ管理補佐		
		監事	葛岡 龍夫	151	運営・会計監査		
		"	坪木 崇	408	運営・会計監査		

☎ 事務局・編集部便り ☎

**福田璋夫(舎友No.115)が
舎友会幹事長と会報
発行人に就任します！**

6月22日開催の公益財団法人信陽舎定時評議員会・理事会において舎友会幹事長、事務局長及び会報発行人を兼務していた福與卓臣が理事長に就任したため、舎友会の幹事長と会報発行人を福田璋夫に交代することになりましたので宜しくお願いします。
正式には、9月7日開催予定の第5回総会での承認後に就任予定です。
なお、事務局長及び会報編集長は変更なくこれまで通り福與卓臣が担当いたします。

年会費の納入にご協力を！！

信陽舎舎友会は、舎友の皆さんの交流・親睦と寮の運営を後方支援することを主な目的として、年1回の総会開催、年2回の会報発行が主な仕事となっておりますが、その運営に関わる様々な費用は舎友の皆さんに納入頂く年会費によって賄っております。また、運営に携わっていただいている役員(舎友)の皆さんは全てボランティアでご協力頂いております。

つきましては、このような事情をご理解いただき、毎年春にお送りする郵便振替用紙による年会費(1,500円)納入にご協力をお願い致します。

《 事務局からのお知らせ 》

☎ お便り大歓迎！ ☎

常時、舎友の皆さんの便りを募集しております。いつでも受け付けますので遠慮なく下記事務局までどしどしお便りをお寄せ下さい。

《 会報「武蔵野」編集委員 》

上松三治彦(108)	竹村 治恭(140)
葛岡 龍夫(151)	浅沼 弘愛(172)
青柳 淳英(280)	池野 兼浩(298)

☎ 舎友名簿に関するお願い ☎

舎友会では、個人情報保護の観点から「舎友名簿」の発行は行っておりません。同期会又は各地区舎友会等を企画される折に、該当する舎友の連絡先を必要とされる場合は、下記事務局までお問合せ下さい。

発行人：福田璋夫(舎友会幹事長)
事務局：福與卓臣(舎友会事務局長)
〒225-0026 横浜市青葉区もみの木台 34-8
☎(045)902-2575 携帯☎090-9841-6349
E-mail : tof2943@citrus.ocn.ne.jp

会報「武蔵野」第5号 令和元年9月1日発行